

災害の教訓を 後世に伝承する



自然災害の被災地の中には、昔の被害を今に伝える石碑がある。それは、後世に二度と同じ思いをさせまいと残した、先人たちのメッセージ。

『自然災害伝承碑』とは？

- ◆ 過去に発生した津波、洪水、火山災害、土砂災害等の自然災害に係る事柄（災害の様相や被害の状況など）が記載されている石碑やモニュメント
- ◆ 自然災害伝承碑は、当時の被災状況を伝えると同時に、被災場所に建てられていることが多く、それらを地図を通じて伝え、地域住民による防災意識の向上に役立つものと期待されます。



自然災害伝承碑
(水害碑：広島県坂町)



明治40年の豪雨による洪水・土石流被害を、後世に伝えるために建立された碑



出典：大阪府警察

平成30年7月豪雨
同様の場所で再び土石流被害が発生

地図記号『自然災害伝承碑』により 災害教訓の周知・普及に取り組んでいます。

都道府県別の登録基数

北海道	35	滋賀県	17
青森県	13	京都府	15
岩手県	147	大阪府	10
宮城県	77	兵庫県	60
秋田県	21	奈良県	26
山形県	8	和歌山県	39
福島県	16	鳥取県	8
茨城県	35	島根県	13
栃木県	34	岡山県	21
群馬県	32	広島県	49
埼玉県	22	山口県	19
千葉県	21	徳島県	43
東京都	32	香川県	18
神奈川県	51	愛媛県	12
新潟県	29	高知県	81
富山県	10	福岡県	14
石川県	6	佐賀県	19
福井県	10	長崎県	27
山梨県	21	熊本県	11
長野県	54	大分県	5
岐阜県	14	宮崎県	9
静岡県	39	鹿児島県	22
愛知県	37	沖縄県	6
三重県	64		



地理院地図における表示 (<https://maps.gsi.go.jp/>)

水害碑

災害名: 洪水・土石流
(1907年7月15日)

詳細説明は画像をクリック

概要

碑名	水害碑
災害名	洪水・土石流 (1907年7月15日)
災害種別	洪水・土砂災害
建立年	1910
所在地	広島県安芸郡坂町小屋浦四丁目
伝承内容	明治40年(1907)7月15日、数日来降り続いた豪雨により天地川や総頭川で土石流が発生した。この未曾有の大災害により、小屋浦地区では43戸の家屋がつぶれ、44名の命が奪われた。 関連外部サイトへのリンク集

ID:34309-002

地図に残る活動をしませんか？

地図への掲載は、**市町村のみなさまからの申請が必要です。**
『自然災害伝承碑』ではというものがありましたら国土地理院中国地方測量部までご連絡ください。
詳しくご説明いたします。